

ンターなど必要な機能を検討しており、あわせて歩道、ツアーバス・タクシーの車両待機場、案内標識等の周辺整備も行うもので、総事業費については、約13億5千万円を予定している。

スケジュールについては、今年度はJR北海道から整備用地の買収を行うとともに地質調査、測量、基本設計を行うこととしており、令和4年度の完成を予定している。

現時点では、ふ頭整備債の活用を予定しているが、今後、基本設計を行い、その整備内容において、国の補助メニューに合致するような事項があれば積極的に活用し、市費の持ち出しの軽減に努めてまいりたい。

委員間の協議

議案第1号

○コンブ漁業作業省力化研究事業費
生産コストの削減を図り、担い手の確保に繋げていく有効な事業であると理解した。

永続的な取り組みが必要だと思つので、十分効果上がるように進めていきたい

湯の川冬のイベント開催負担金

函館の冬季の観光を担えるような取り組みにしてほしい。

議会としても注目していかなければならない。

議案第2号

若松地区旅客ターミナル整備

ターミナル整備により利便性が向上し、地域経済の活性化に寄与することが期待される。

などの理由で賛成。

民生分科会

議案5件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和元年度函館市一般会計補正予算(民生分科会関係部分)

○コンビニ交付システム構築等事業費

・事業着手の理由や事業の目的

○生活保護適正化対策事業費増

・増額の内容及と根拠

○ひとり親家庭サポート・ステーション開設経費

・事業の内容及と運営体制、実施の開始時期

主な理事者の説明

議案第1号

○コンビニ交付システム構築等事業費

本事業はマイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアなどで住民票などを取得できるサービスであり、サービス提供時間は基本的に年末年始を除く午前6時半から午後11時までとして、来年2月からの実施を目指している。

実際のデータ通信にあたっては、専用通信ネットワークの利用や通信内容の暗号化などによる個人情報漏えいの防止対策や、画面表示や音声案内による注意を促すことにより、マイナンバーカード等の取り忘れ防止対策が図られると考えている。

○生活保護適正化対策事業費増

本事業は、生活保護受給者の健康の保持増進と生活保護費全体の約半分を占める医療扶助の適正化を目的に、健康診査の受診勧奨や生活習慣病の発症予防、重症化予防等を推進するための準備段階として、本市の生活保護受給

者の現状と健康課題の把握を行うものである。

来年度の事業実施に向けて、本年度は生活保護受給者の医療全体の状況、地域における健康課題等の分析や対象者の抽出を行うために、市が保有する生活保護受給者のデータや医療扶助レセプトデータ、健康増進法に基づく健康診査のデータの収集および分析業務を行うための委託料を予算計上している。

○ひとり親家庭サポート・ステーション開設経費

母子世帯をはじめとするひとり親家庭への支援を強化するため、ひとり親家庭が抱える生活や就労、経済的自立など、様々な困り事や悩み事の解決に向けた相談窓口としてひとり親家庭サポート・ステーションを設置するものであり、本庁舎に3人、亀田支所内に2人の計5人の母子・父子自立支援員を配置し、7月中の開設を予定している。

具体的には、相談者の来所による受付のほか、電話やメールなど、幅広い利用方法を可能とし、相談内容や状況に応じて、家庭への訪問や関係機関への付添支援なども行っていく考えである。

委員間の協議

議案第1号

○コンビニ交付システム構築等事業費

マイナンバーカードを利用するため、個人情報漏えいが懸念されたが、対策も講じているほか、本事業が市民サービスとして必要であり、利便性がよくなるため良しとした。

○生活保護適正化対策事業費増

本事業により得られた情報を、生活保護受給者の健康管理及び健康の維持・増進のために活用し、生活保護行政の適正な実施に役立てていただきたい。

○ひとり親家庭サポート・ステーション開設経費

ひとり親家庭への支援は、悩みを抱えている方がより暮らしやすくなるための補正予算であり、施策が組み込まれたことについては評価できる。などの理由で賛成。

